

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	大連市障害者職業技能訓練センターによる就労開発事業の強化計画
3. 事業の背景と必要性	中国では社会福祉の基盤整備を図る中、課題の一つとして障害者の社会参加の拡大が求められている。技術や経験を必要とする多くの企業のニーズに答えていくためには、障害者本人の能力向上が重要となり、今後の障害者の就労率を高めるため、専門的な知識や技術を提供する場が必要とされている。大連市障害者連合会では知的・身体障害者を受け入れ中国・大連市障害者職業訓練センターを運営しており、通勤が困難な障害者の在宅勤務などの新しい就業形態の実現の為、現在はITを使った職業訓練についての情報を必要としている。大連市障害者連合会としては、日本の障害者職業能力開発校における職業訓練のカリキュラム作成等を中心にセンターの運営手法を学び、就職に結びつく適切なコースの設定方法や運営方法を習得したいとの強い意向がある。
4. 事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本における障害者職業訓練のモデルと管理方法を学び、指導者の質的向上を図る。</li> <li>2. 大連市における障害福祉事業の障害職業訓練および指導方法の向上を図る。</li> <li>3. より多くの障害者の社会参加を促し、就職率の向上による社会的自立を目指す。</li> </ol>
5. 対象地域	中華人民共和国大連市
6. 受益者層	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大連市障害者職業技能訓練センター職員</li> <li>2. 大連市障害者職業技能訓練センター訓練生</li> </ol>
7. 活動及び期待される成果	<p>大連市障害者職業技能訓練センター職員（1名）を受け入れ、以下のような障害者職業訓練のモデルと管理法を学ぶことで、大連市の職業訓練に関わる運営のノウハウを取得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 能力開発校運用手法（運営の在り方、職業訓練のカリキュラム作成等）</li> <li>2. 障害者の就労に関するプロセス</li> <li>3. ITを使ったコース体験（コンピュータ製図・OAビジネス技術・ネットビジネス等ITを使った先駆的なコース。）</li> </ol>
8. 実施期間	平成20年7月7日～平成20年9月26日
9. 事業の実施体制	実施団体である北九州市手をつなぐ育成会が窓口となり、連絡調整・事務手続きを行なう。主な研修先である国立福岡県宮福岡障害者職業能力開発校が研修内容を組み立て、研修を提供する。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会（福岡県北九州市）
2. 対象国との関係、協力実績	2006年11月には育成会へ訪問団の受け入れを行い、2007年は日本から大連市障害者連合会の招待を受け視察団の派遣を実現した。また、大連の二ユースを定期的に育成会の広報誌「ハートフルネット」に掲載し情報発信するなど情報交換も盛んである。